

## はむら輝ニュース Vol.3

問合せ 企画政策課企画政策担当(内)314

### 第五次羽村市長期総合計画後期基本計画 「はむら輝プロジェクト」を推進します

市では「第五次羽村市長期総合計画後期基本計画」を推進するため、はむら輝プロジェクトを定め、7つのプロジェクトに取り組んでいます。

はむら輝ニュース Vol.3では、民間事業者などとの連携によるまちづくり推進プロジェクト「官民連携で輝くまち」に沿った取組みを紹介します。

#### 官民連携で輝くまち

11月15日、多摩ケーブルネットワーク㈱と「地域広帯域移動無線アクセスシステム(地域BWAシステム)の整備及び公共サービスに関する協定」を締結しました。

地域BWAとは、2.5GHz帯の周波数の電波を使用し、地域の公共サービスの向上など、公共の福祉の増進に寄与することを目的とした電気通信業務用の無線システムのことで、今後、市内での活用が期待されます。

#### 協定の内容

多摩ケーブルネットワーク㈱は、地域住民に対し、次のサービスを提供するとともに、総務省により推進される地域BWA制度にのっとり、住民サービスを整備します。

- (1) Wi-Fiの利用環境の整備に関すること
- (2) 地域情報・防災情報の提供に関すること
- (3) ケーブル未敷設地域へのサービスの提供に関すること
- (4) IOTデバイスなど、地域の安全安心の促進に関すること

- (5) その他、市と連携して取り組むサービスの詳細については、別に定めるものとする

#### 実施細目

本協定では、まず、次の項目に取り組みます。

##### ■羽村市の実施項目

- 多摩ケーブルネットワーク㈱が行う地域BWAシステム構築のための基地局の設置に対し、市の公共施設などを無償で提供する。
- 基地局の運用に必要な電力を無償で提供する。

##### ■多摩ケーブルネットワーク㈱の実施項目

- 災害時に避難所となる羽村市内小・中学校10校へ、災害時に使用できる地域BWA無線端末を無償提供する。
- 市のイベント時などに使用できる無線アクセスポイントと地域BWA無線端末を無償提供する。
- 羽村駅・小作駅の周辺で常時使用できる無線アクセスポイントと地域BWA無線端末を無償提供する。

本協定に基づく取組みの推進にあたっては、まず、市域のWi-Fi環境の整備に取り組み、災害時の情報提供体制の強化に取り組んでいます。



▲締結式の様子

官民連携  
×  
Wi-Fi環境の整備



▲小作台西会館



▲神明台会館

※営利を目的とした利用、宿泊はできません。  
※羽村市が設置し各地域の町内会・自治会で組織する会館運営委員会が管理運営をしています。  
問合せ 地域振興課地域振興係 ☎203

ご利用ください！  
まちにとってなくてはならない  
「みんなで集まれる場所」

「みんなで集まりたい」と思ったとき、皆さんの近くに23か所の「会館(地域集会施設)」があります。

会館には

- ❖懇親会・パーティーにも最適な大広間や調理室
- ❖ダンスができる集会室
- ❖机・椅子が使える会議室

など、小ささまざまな部屋があります。

サークル活動はもちろん、仲間との集まりなどにもぜひ「会館」を利用してください。

「利用してみようかな」と思ったら、まずは気軽に問い合わせてください。

## 声の広報録音ボランティア募集

「声のボランティアの実」では、市が月2回発行する「声の広報」の作成に協力しています。

「声の広報」の吹込みの際、デジタル録音機器の操作を無償でお手伝いいただける方を募集します。難しい操作はありません。

募集人員 若干名

活動日 毎月1回または2回（1回の録音時間に3〜4時間程度）

※録音担当者の都合に合わせて日程を設定します。

活動場所 図書館ボランティア室、福祉センターほか

活動内容 デジタル録音作業（使用機

## 新しい親医療証の送付

1月1日（月・祝）から、ひとり親家庭等医療費助成制度の「親医療証」が新しくなります。新しい医療証（ふじ色）を12月末までに送付します。期限の切れた医療証（桃色）は、破棄していただくか、子育て支援課に返却してください。次のような場合は、必ず届けてください。

①家族・同居人の状況（住所など）に変更があった場合、②加入している保険の内容に変更があった場合、③医療費助成対象者が施設に入所した場合、

材：PLEXTALK)

※機材の使用方法は別途説明します。

申込み・問合せ 電話で、声のボランティアの実（石川）へ ☎5555-7519

「声の広報」のCDは、図書館で貸出しをしています。また、CDの送付を希望する方は、事前に広報広聴課広報係または障害福祉課障害者支援係へ連絡してください。  
CD送付の問合せ 広報広聴課広報係 ☎339 / 障害福祉課障害者支援係 ☎187

④心身障害者の医療証の交付を受けた場合、⑤事実上婚姻状態（同居など）になった場合

※③〜⑤に該当する場合は、助成の対象になりません。

※届け出が遅れると、さかのぼって医療費を返していただくことがあります。

※現在医療証を持っていて、現況届を未提出の方は、至急提出してください。

問合せ 子育て支援課支援係 ☎236



## オリ・パラ通信 9

### 自転車競技 Cycling



東京2020パラリンピックの全22競技紹介の第6弾として自転車競技を紹介いたします。

#### 競技種目

パラリンピックの自転車競技は、大きく分けて2つの種目があります。

1つ目は、屋外的一般道を使用する「ロード」。2つ目は、屋内の競技場のバンクという傾斜のある周回走路を走る「トラック」があり、着順またはタイムを競います。

#### 障害の種類や程度によってクラス分け

障害の種類により、4つのクラスに分かれ、それぞれの特性に応じた自転車での競技を行います。

①Cクラス：切断・機能障害・麻痺など手

脚や体幹に障害のある選手が出場するクラスです。義手や義足などを使用する選手もいます。

②Tクラス：重度の麻痺や機能障害で

体幹のバランスが悪く、二輪自転車に乗ることが難しい



▲②三輪自転車



▲①通常の二輪自転車

選手が対象です。

③Hクラス：下肢の障害により脚でペダルを漕ぐことが難しい選手がハンドバイクを使用します。「ロード」のみのクラスです。



▲③ハンドバイク

④Bクラス：視覚障害のある選手のクラスです。二人乗り自転車を使用し、前に乗る目が見えるパイロットが誘導し、息を合わせて競技を行います。



▲④タンデム自転車

※画像提供東京都見どころ

「トラック」では、時速60kmものスピードでバンクを走ります。目にも留まらぬ速さは迫力満点です。タイムを競う種目や、1対1もしくは集団の中での駆け引きが行われる種目もあり、注目ポイントが幅広くあります。

■「トラック」の競技会場は伊豆ベロドロームです（「ロード」は調整中）。  
問合せ 東京オリリンピック・パラリンピック準備室 ☎344